

令和7年度 弥栄学園

発行:弥栄学園(代表 弥栄中学校)

連絡先電話番号 0772-65-2554

F A X 0772-65-4037

メール yasaka-ihs@kyoto-be.ne.jp

保幼小中一貫教育だより

運動会ぼくのくつにもおまじない

令和7年6月12日発行

「5/26 (月) 令和7年度 運動会」(弥栄小学校)

開会式



応援(弥栄こども園5歳児)



徒競走(6年生)



児童会種目「みんなで協力!走って!取って!入れまくれ!」



集計



進行



リレー(高学年)



表彰



閉会式



青チーム



赤チーム



黄チーム



白チーム



【児童の感想】

◇今回の児童会種目は、自分たちで考えてつくったものだったから、「もっと良くしよう」「どうしたら良くなるかな」と考えて練習を進めることができた。

◇今年の児童会種目は、6年生で何回も話し合いました。その時、自分の心の中では少し苦しい時・悩む時もありました。でも、練習をしていくたびに、チームの仲間から「楽しい」「もっとやりたかった」「もう一回したい」という心がうれしくなる言葉が出てきました。今思い出すと、私はその言葉で救われたなあと感じます。

◇児童会種目で負けても、みんな笑顔で「楽しかった」と言ってくれてうれしかったし、（この種目に）決めて良かったなあと思いました。

【保護者の感想】

○今回の運動会の目標は「勝っても負けても、もっとやりたい運動会」ということで、他者との比較ではなく、自分自身やチームで懸命に取り組み協力する過程を楽しむ、ということ意識して練習してきた運動会だったんだと感じました。あと、6年生の児童自身が種目の内容を考えて実行できたことは本当に素晴らしいことだと思いました。

○子どもたちが考えたという児童会種目が、みんな本当に楽しそうに競技に参加していてとても良かったと思います。走るのが得意な子も苦手な子も色々な形で参加できるようになっていて、よく考えられているのが感じられました。みんなで沢山考え抜いて、沢山の意見を出し合い、当日成功していたので子どもたちは達成感があったと思います。いい運動会でした(*^^*)

○子どもたちが作り上げた運動会だなと感じました。「自分たちで考えて行動する。」簡単に言うことはできますが勇気もいるし、大人でも躊躇してしまう場合があります。子どものうちから挑戦して経験することは今後きっと役に立つときが必ずくるし、そのようにさせてくれた先生方に感謝しています。

「春の遠足とよもぎ団子クッキング」(弥栄こども園)

春の遠足



よもぎ団子クッキング(4・5歳児)



5/22(木)、2歳児から5歳児の「春の遠足」。2歳児はこども園周辺で、また3歳～5歳児は弥栄運動公園で行いました。写真左は「じゃんけんマンとのお楽しみ！」園児がじゃんけんマンに勝ったらゼリーをゲットできます。写真右は「遊具に挑戦！」園児たちは好奇心いっぱいでした。

5/27(火)は4・5歳児の「よもぎ団子クッキング」。写真左、妖精「よもぎちゃん」がよもぎを茹で、園児たちは色の変化やにおいなどを観察しました。写真右は「5歳児の団子作り」の様子です。

「遠隔授業≪技術科・プログラミング教育≫(弥栄中学校)」

令和6年度に引き続き、3年生の技術科において、文部科学省が推進する「義務教育段階における質の高い教育の実現に向けた遠隔教育」を活用し、専門家によるオンライン授業を実施しています。5月からスタートし、年間17時間実施します。

今年度は丹後中学校と合同で授業を受けています。学校法人 宇都宮海星学園星の杜中学校・高等学校 技術科教諭、宮城教育大学 非常勤講師 木村 浩之様にお世話になり、学習課題「プログラミングで未来の生活を創造しよう」について学んでいます。弥栄中学校の技術科担当教員も共に担当します。

